

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを  
作りましょう」

高田ロータリー  
今年のスローガン

「善意を深め、  
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるろ

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン  
2560地区ガバナー 川瀬 康裕  
高田ロータリー会長 牧野 章一  
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

## 第15回例会 ■ 10月19日(金)

No.15

### 会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは。  
先週はお月見例会でした。  
「お月見尽くし」の会場のしつら  
え、そしてお料理など、和の文化を  
堪能いたしました。関係者の皆さま  
には重ねて感謝申し上げます。

10月6日に行われました高田駅前植栽プラン  
ター設置事業に対して、高田駅前振興会様・高田  
駅前通り雁木の会様からプランターの寄贈・景観  
整備でお礼状をいただきました。ここに皆さまへ  
ご紹介申し上げます。

さて、10月は「米山月間」にもう一つ「経済  
と地域社会の発展月間」です。儀明川・青田川の  
植樹、高田公園の整備・植樹、高田駅前の植栽な  
どまだまだありますがこれらのことは「高田地区」  
の町おこしと強く結びついていることは言を俟た  
ないことです。

町おこしは地域に生きる皆さまのプライドと経  
済環境の創出です。

「経済と地域社会の発展」、クラブそして私たち  
は地域とともにあります。

本日の卓話は、上越地域医療センター病院 薬  
劑科 薬局長 宮川哲也様から「認知症にまつわる

お薬よもやま話」のお話をいただきます。認知症  
にかかわる卓話は3回目です。一層理解を深めたい  
とおもいます。

### 出席報告

出席率 98.15%

### 委員会報告

ニコニコBOX委員会

田中正人君——高田駅前に、植栽プランターを  
ご寄付いただきありがとうございます。維持  
管理につとめて参ります。感謝。

橋詰敏一君——楽しい「月見の会」ありが  
うございました。月の会に運がつきまくりま  
した。我が長屋は、長養館さんの床の間の月の  
真ん前、月のパワーをいただきました。運を  
皆さんにお分け致します。

遠藤 巖君——大変お世話になりました。本日  
はお蔭さまで結婚50周年の日に当たりました。  
これからも宜しくご指導お願い致します。

米山奨学委員会——寄付のお願い

社会奉仕委員会——10/6 高田駅前植栽プラン  
ター設置事業実施報告

### 幹事報告

配布物：週報No.13・14

## ——「私もひとこと」への『寄稿』をお待ちしています——

広報・会報・雑誌委員会

「私もひとこと」が順調に掲載されています。  
牧野年度での会報は①クラブの活動記録を残すこ  
と、に加えて ②会員に読んでもらえる・見ても  
らえる会報を目標にしています。具体的には一人  
でも多くの会員に、「会報」に登場していただく  
ことを目指し「写真の掲載を多くする」「私もひ  
とことの寄稿を呼びかける」ことにしています。

会報の「写真・記事・ひとこと」が例会での話題  
の一つとなり、会員間の交流の輪が広がることを  
願っています。

内容は自己紹介、会社の紹介、ロータリーへの  
提言など自由です。500～600字程度にまとめ事  
務局梅沢さんの方へメール・FAXでお寄せくだ  
さい。順次掲載させていただきます。

## 卓話

# 認知症にまつわるお薬よもやま話



上越地域医療センター病院 薬剤科 薬局長 宮川 哲也 様

私が薬剤師になった頃は認知症という言葉もなく、もちろん認知症に対するお薬も存在していませんでした。1999年10月にアリセプト®が日本で発売され、それ以来多くの認知症患者さんに使用されてきました。その後10年以上経過した2011年に新しく3種類の認知症のお薬が日本で使用できるようになりました。認知症のお薬に限らず、お薬全てに共通して言えることですが、発売された頃には分からなかった多くの事実、例えば新しい効果や使い方、副作用が年月を経ることにより明らかになってきています。

認知症の原因というのを思い浮かべられるでしょうか。「頭の中の伝達物質が減る」、「脳梗塞がきっかけ？」など今まで様々なお話を聞いたり、見たりされたことがあると思います。では、認知症の原因として“お薬”はどうでしょう？別の病気の治療や予防のために飲んでる“お薬”が脳に影響を与えている？という事実が実際に報告されています。いわゆる薬の副作用が、認知症に限らず、近年非常に問題視されています。

認知症だからといって、認知症の薬だけを服用

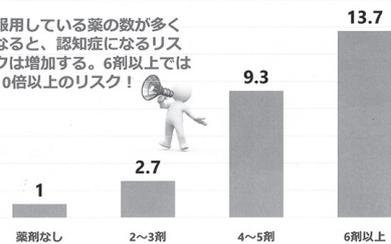
しているという方は少ないのではないのでしょうか？高齢になればなるほど、服用しているお薬の数は多くなり、ある調査では、認知症の高齢者は平均6種類のお薬を飲まれています。お薬を多く飲むと、実は体に良いことばかりでなく、悪いこと、いわゆる副作用が起こりやすくなります。また、お薬の数が多いと飲み忘れや飲み間違いも増えてしまうというような経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

本日は、このような認知症にまつわるお薬よもやま話をご紹介させていただき、お薬について一緒に考えて

みたいと思います。そして、私たち薬剤師がお手伝いできることを併せてご紹介いたします。

### 薬剤数と認知症

服用している薬の数が多くなると、認知症になるリスクは増加する。6剤以上では10倍以上のリスク！



Larson EB, et al. Adverse drug reactions associated with global cognitive impairment in elderly persons. Am Intern Med. 1987 Aug;107(2):169-73.

## 私もひとこと

## 参加してこそ意義がある



昨年7月から高田ロータリークラブに入会させて頂きました古淵英一です。

ロータリークラブに入会して早くも1年が経過しましたが、ロータリーは私の高田での生活に「彩り」を与えてくれています。

私はロータリーの入会時、皆様への挨拶で「何も分かりませんが、できるだけ参加したい」と申し上げました。その言葉どおり、例会をはじめ納涼会、お月見会、クリスマス例会、オークション、観桜会、IMゴルフ大会等々、殆どの活動に参加し、しかも誰よりも楽しむよう努めてきました。

特に印象深い事柄は、人生で初めて「手に手つないで」の指揮をさせて頂いたことです。指揮は

北越銀行高田支店 古淵 英一 君

二度目の機会にも恵まれ、その際には、職場の部下の前で練習を行い、アドバイスをもらったことを覚えています。

また、高田ロータリークラブでは、中学以来40年ぶりに同級生の中田正さんに会えたこともうれしい出来事でした。

最近、様々な活動を通じて、皆様と自由闊達に色々なお話しをする機会がありますが、このロータリーでの出会いが、「何か運命なのかな」と思える場合が多く、時間の経過とともに絆の深さを感じています。

今後も、「ロータリーは参加してこそ意義がある」との思いで、誰よりも楽しく、皆勤賞を目指して活動したいと思えます。

## 11月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
17	11月2日	移動例会 上越医師会館 卓話 新潟県立看護大学 准教授 高林知佳子様 演題 人間ドックのデータの見方(仮)	上越医師会館
18	11月9日	会員卓話 宮川 大樹君 演題 未定 交換留学生：ジョン・ステンゼル君例会出席日	デュオ・セレッソ
19	11月16日	クラブ協議会 地区大会報告	デュオ・セレッソ
-	11月23日	法定祝祭日 休会日	-
20	11月30日	卓話 国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所 所長 遠藤 正樹様 演題 未定	デュオ・セレッソ